製本について

——機械処理システムのうち——

遠藤 哲郎*

高橋 伸夫**

I はじめに

当館で計画し、実施に移しつつある雑誌関係業務の機械処理の概要については機関誌「医学図書館」15巻4号に掲載されているので、その詳細については省略させていただきますが、一口に言って雑誌の受入から始まり、所蔵目録編集に至る過程を出来得る限り機械化し、日常業務の合理化、標準化によって生ずるであろう余力により他の面へのサービスの拡大をはかることを眼目としている。

当館における雑誌システムを2分すると、①現在継続受入されているものの処理、②バックナンバーの処理の2つである。前者は毎日受入られる雑誌の記録をマスター・ファイルに蓄積し、支払・製本業務が自動的に実行されるベースとなるシステムであり、後者は雑誌の所蔵内容をマスター・ファイルに記録し、更に前者（Current Journal 用）のマスター・ファイルとのつき合せにより所蔵内容を常に up-to-date に保つためのシステムである。前者のいわゆる Current Journal の処理は大別して次の3つの独立した業務が含まれる。①Check-in、②支払、③製本である。現在 Check-in は実施に移されており、支払・製本両業務もほぼ実験段階を了え、実際に供し得る状態に至った。

いうまでもなく図書館における製本業務は蔵書の適切な維持、管理の面から重要な位置を占めている。当館においても年間約 4,000~5,000 冊の雑誌を製本する。その中にはバックナンバーの修理製本も含まれるが、その大部分は Current Journal の類である。これらの Cur-

rent Journal の製本機械処理は前述の Check-in、支払関係ファイルと当該関係ファイルとのつき合せにより行ない得るものである。

製本業務に係る機械処理を従来の手作業と比較した場合、果してどれだけの効果を上げ得るか当初は危惧されたが、実験段階における結果としてかなりの効果を上げ得ることが実証された。

しかし、あくまで電算機は機械に過ぎず、万能ではない。特に雑誌のように複雑な要素を有しているものについては、そこに人間が介在せざるを得ない面を含んでいる。一方、図書館業務の機械化は図書館近代化のために絶対必要条件と考えるが、余りにも過信に陥ることがあってはならないと考える。

以下各ステップについて紹介させていただきます。

II 製本情報のアウトプット(STEP-B-1)

最初に、上記 STEP-B-1 と名付けたプログラムを流し製本可能誌をリストアップさせる。インプットするファイルは、すべて磁気テープである。ファイルの内容は次の通りである。

- (1) マスター・ファイル (図1)
- (2) サブマスター・ファイル (図2)
- (3) 支払 MT (図3)

(1)のマスター・ファイルには、図示したとおり、誌名、略誌名など、いわゆる基本的な項目のほかに、製本仕様に関する項目とか、製本可能誌を算出する時必要な分冊数とか巻内号数などが記入されており、さらに、寄贈誌の評価額とか前払契約誌の予約価など支払に関連する諸項目が記録されている。(2)のサブマスター・ファイルには継続受入誌の受入状況が記録されており、デイ

* Tetsuro ENDO, 東京大学医学図書館

** Nobuo TAKAHASHI, "

雑誌 コード (6文字)	レコード ナンバー (1)	雑誌 名 (144)	略 誌 名 (40)	巻 内 号 数 (3)	分 冊 数 (3)	ク ロ ス 型 (1)	判 型 (2)	綴 の 種 類 (1)	広 告 の 処 理 (1)	サ プ ル の 合 級 (1)	購 入 ・ 寄 贈 (1)	和 ・ 洋 の 別 (1)	1 COP. ・ 2 COP. (1)
--------------------	---------------------	------------------	---------------------	-------------------------	--------------------	-------------------------	---------------	-------------------------	------------------------------	-----------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------------

1 レコード

雑誌 コード (6文字)	レコード ナンバー (1)	購入雑誌の場合 年間予約価格 寄贈雑誌の場合 巻当り評価額	購入雑誌の場合 予約巻数 (FROM) (TO) 寄贈雑誌の時空白	雑誌 の 単 価	* 単 価 の 端 数	和 ・ 洋 の 別	1 COP. ・ 2 COP.	予 約 年 度
--------------------	---------------------	--	--	-------------------	-------------------------	-----------------------	-----------------------------	------------------

1 レコード

注：1レコードの長さ＝356文字

* 雑誌の単価＝ $\frac{\text{年間予約価格}}{\text{予約巻数} \times \text{巻内号数}}$ 端数が出た場合に単価の端数に記録

図 1 マスター・ファイル上の製本関係項目

和 洋 の 別	予 約 年 度	1 COP. ・ 2 COP.	雑誌 名 コード	巻 号	バ ー ト ル	サ ブ ・ ナ ン バ ー	刊 年	受入年月日	製 本 済 か ?	イ ン デ ク ス
------------------	------------------	-----------------------------	----------------	--------	------------------	---------------------------------	--------	-------	-----------------------	-----------------------

1 レコード

注：1レコード＝36文字

図 2 雑誌受入記録のあるサブマスター・ファイルの内容

雑誌 コード	1 COP. ・ 2 COP.	予 約 年 度	扱 店	巻 号	刊 年	支 払 単 価	支 払 年 月 日	和 ・ 洋 の 別
-----------	-----------------------------	------------------	--------	--------	--------	------------------	-----------------------	-----------------------

注：1レコードの長さ＝40文字

図 3 支払MTのフォーマット

図 4

セイホン ジョウホウ (シハライ チェック ミスミ)

ページ 32

スウ シメイ	ロケ カン	ゴウスウ	サップ	カンネン	サクイン	アンサツ	コメント
582 BLOOD. THE JOURNAL OF HEMATOLOGY	(A C) (33) (4- 6) (1)	(1969)	()	(2)			
	191B2810000330004						
583 BLOOD. THE JOURNAL OF HEMATOLOGY	(A C) (34) (1- 3) (0)	(1969)	()	(2)			
	191B2810000340001						
584 BLOOD. THE JOURNAL OF HEMATOLOGY	(A C) (34) (4- 6) (1)	(1969)	()	(2)			
	191B2810000340004						
585 BLOOD. THE JOURNAL OF HEMATOLOGY	(A C) (35) (1- 3) (1)	(1970)	()	(2)			
	191B2810000350001						
586 BLUT. ZEITSCHRIFT FUER DIE GESAMTE BLU TFORSCHUNG	(A C) (18) (1- 6) (0)	(1968-1969)	()	()			
	191B2850000180001						
587 BLUT. ZEITSCHRIFT FUER DIE GESAMTE BLU TFORSCHUNG	(A C) (19) (1- 8) (0)	(1968)	()	()			
	191B2850000190001						
588 BLUT. ZEITSCHRIFT FUER DIE GESAMTE BLU TFORSCHUNG -SD-BD. HAEMATOLOGIE UND BLUTTRANSFUS ION	(A C) (19) (6- 8) (0)	(1969)	()	()			
	101B2880000060000						
589 BOLETIN DE ESTUDOS MEDICOS Y BIOLOGICOS	(1 F) (26) (1- 2) (0)	(1969)	()	()			
	101B3130000260001						
590 BOLETIN INFORMATIVO	(1 F) () (49- 50) (0)	(1969)	()	()			ハジメテ
	101B3220000000049						
591 BOOK LIST AND SUBSCRIPITON BOOKS BULLE TIN	(L S) (65) (1- 23) (0)	(1968-1969)	()	()			ハジメテ
	191B3490000650001						
592 BRAIN. A JOURNAL OF NEUROLOGY	(A C) (92) (1- 4) (0)	(1969)	()	()			
	191B3590000920001						
593 BRAIN RESEARCH	(A C) (13) (1- 3) (0)	(1969)	()	()			
	191B3650000130001						
594 BRAIN RESEARCH	(A C) (14) (1- 3) (0)	(1969)	()	()			
	191B3650000140001						
595 BRAIN RESEARCH	(A C) (17) (1- 3) (0)	(1970)	()	()			
	191B3650000170001						
596 BRAIN RESEARCH	(A C) (18) (1- 3) (0)	(1970)	()	()			
	191B3650000180001						
597 BRAIN RESEARCH	(A C) (19) (1- 3) (0)	(1970)	()	()			
	191B3650000190001						
598 BRITISH DENTAL JOURNAL	(A C) (126) (1- 12) (0)	(1969)	()	()			
	191B3870001260001						
599 BRITISH HEART JOURNAL	(A C) (31) (1- 3) (0)	(1969)	()	(2)			
	191B3950000310001						

図 5

和 洋 の 別	子 約 年 度	1 COR ・ 2 COR	雑誌 コード	初 巻 号	初 号 刊 年	終 巻 号	終 号 刊 年	索引 の有 無	サ ッ プ の 冊 数	ワ ー ニ ン グ	未 払 か ?	支 払 延 理	寄 贈 購 入	分 冊 数	冊 数	巻 号 バ タ ー ン	合 購 製 本 か	ク ロ ー ス	判 型	広 告 延 理
------------------	------------------	---------------------------	-----------	-------------	------------------	-------------	------------------	---------------	----------------------------	-----------------------	------------------	------------------	------------------	-------------	--------	----------------------------	-----------------------	------------------	--------	------------------

雑誌 価	雑誌名	略誌名	休 廃 刊	巻 内 号 数	館 内 レ ジ ョ ン	一 連 番 号	発 注 日	納 入 子 定 日	業 者	サ ッ プ コ ド メ ン ト	サ ッ プ 初 号	サ ッ プ 終 号
---------	-----	-----	-------------	------------------	----------------------------	------------------	-------------	-----------------------	--------	--------------------------------------	-----------------------	-----------------------

注: 1レコードの長さ=284文字

図 6 製本情報ファイルのフォーマット

図 7

リー・チェック・インの都度記録更新が行なわれる。(3)の支払 MT には、寄贈誌、前払契約誌を除いた雑誌の価格、すなわち、後払購入誌の価格が記録されている。これら 3 つのファイルを交互にインプットして製本可能誌の算出を行なう。

最初に入力するのはサブマスター・ファイルで、各タイトルの受入記録をシークエンシャルにチェックし、巻単位に編集して、ディスクにアウトプットしておく。出力するのは具体的には、各タイトルの巻内の初号と終号、含まれる冊数、それに雑誌コード等である。このディスク・バックとマスター・ファイルを入力し、両者のレコードを、雑誌コードにより、つき合わせて、製本が可能かどうか判断をさせ、可能誌のみを磁気テープに出力させる。

刊行頻度が不定なタイトルは、製本可能かどうかの判定を下すのがむづかしい。インデックスの有無は、ひとつの決め手になりうるが、かならずついてくるという保証がないので困る。そこで上記のようなフリークエンシーの不確定なタイトルについては、ディスクに編集したレコードをそのまま、他の製本可能誌とともに、磁気テープ上にアウトプットする。

この磁気テープを、さらに、支払 MT とマスター・ファイル等とともにインプットし、製本可能誌が支払済になっているかどうか、スクリーニングを行なう。支払済のものについては、製本単位に見合う雑誌価を同時に算出しておく。また、寄贈誌の場合には、評価額を機械的にアウトプットする。結果は、製本情報ファイル(図 6)と、製本情報リスト(図 5)となる。

III 集本と情報ファイルの修正(STEP—B—4)

製本情報リストに基づき、本を集める。集本の時、リスト上のタイトルで、なんらかの都合で製本発注しないもの、あるいは分冊単位を変更するものなどがあれば、それらをこのリストの決められた場所に記入し、パンチャーに渡す。このリストは、カードせん孔用のデータ・シートを兼ねる。

刊行頻度の不確定な雑誌は、製本が可能であるかどうか、その判定ができない。そこで、前述のとおり、製本情報リスト上に「チュウイセヨ」とウォーニングを付して、ディスクのレコードを機械的にプリントする。ノイズ込みである。また、分冊の単位は、その時の号の厚さにより変更されうる要素がある。修正の件数は、どうしても多くなる。これは効率上のぞましくないが、フリー

クエンシーが、全て確立され、巻内の号数が一定化されぬかぎり、解決の方法がない。

この修正用のカードは、次の要領でパンチする。製本情報リストに*で囲まれた 17 文字があるが、これらは、雑誌コード、巻、号数を意味し、これをパンチして入力し、情報ファイルのレコードとマッチングをとる時のキイとする。リスト上には、製本可能となっているもので、発注をしないものは、上記 17 文字のみをパンチして入力すれば、ファイルから該当のレコードを抜取ることができる。分冊数等を修正する場合は、次の例の如くやればよい。すなわち、リスト上、1 巻の 1 号から 12 号までを製本するようになっているのを、1 号から 6 号、7 号から 12 号に分割したい時は、上記 17 文字の次に、1—6、7—12 という具合に、修正内容をパンチして、インプットすればよい。なお、この時、号数の変更に則応した雑誌価の改訂も行なわれる。

上記のごとくパンチされたカードと情報ファイルを入力することにより、ノイズのまったくない情報ファイルを得ることができる。それをさらにサブマスター・ファイルとともに入力し、受入記録に製本発注済のマークを記入しておく。

IV 発注書のアウトプット(STEP—B—5)

前のステップで、発注準備がととのったことになる。そこで、発注先が決ったら、製本業者名、発注日、納入予定日等をカードにパンチし、製本情報ファイルと一緒に入力する。

結果は、発注書(図 9)としてライン・プリンター上に、さらに発注ファイルとして磁気テープ上に、アウトプットされる。この発注書をつけて、雑誌を製本業者に引き渡す。

V 製本中ファイルと製本中リストの更新(STEP—B—6, 8)

発注ファイルの作成時に、以前に発注し、なお製本中のものがある場合は、今回発注の分と、その製本中ファイルとをマージし、ファイルの更新と、新しい製本中リストを打ち出さねばならない。

この処理は、プログラムの面からみると、MERGE・SORT・PRINT と、3 つのステップに分けられる。余談になるが、ここに述べている製本処理用のプログラムは全部コボル(COBOL)というプログラム言語で書かれている。これは事務処理用に適した言語といわれてい

図 8

セイホン ハツチユウシヨ

12 ページ

スウシメイ	カン	ゴウスウ	カンネン	サップ	サクイン	サツスウ
174 AMERICAN JOURNAL OF MEDICINE	(48)	(1-	5) (1970)	(1) () (5)		
	クロウス(SP 17)	コウコク	トル	ハンガタ (A4)	カガリ	
175 AMERICAN JOURNAL OF NURSING	(69)	(1-	4) (1969)	() () (4)		
	クロウス(SP 266 1/2)	コウコク	ソノママ	ハンガタ (A4)	カガリ	
176 AMERICAN JOURNAL OF NURSING	(69)	(5-	8) (1969)	() () (4)		
	クロウス(SP 266 1/2)	コウコク	ソノママ	ハンガタ (A4)	カガリ	
177 AMERICAN JOURNAL OF NURSING	(69)	(9-	12) (1969)	(1) () (4)		
	クロウス(SP 266 1/2)	コウコク	ソノママ	ハンガタ (A4)	カガリ	
178 AMERICAN JOURNAL OF NURSING	(70)	(1-	5) (1970)	(1) () (5)		
	クロウス(SP 266 1/2)	コウコク	ソノママ	ハンガタ (A4)	カガリ	
179 AMERICAN JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYN ECOLOGY	(103)	(1-	4) (1969)	() () (4)		
	クロウス(BACKRUM 22)	コウコク	トル	ハンガタ (A4)	カガリ	
180 AMERICAN JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYN ECOLOGY	(103)	(5-	8) (1969)	(1) () (4)		
	クロウス(BACKRUM 22)	コウコク	トル	ハンガタ (A4)	カガリ	
181 AMERICAN JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYN ECOLOGY	(104)	(1-	4) (1969)	() () (4)		
	クロウス(BACKRUM 22)	コウコク	トル	ハンガタ (A4)	カガリ	
182 AMERICAN JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYN ECOLOGY	(104)	(5-	8) (1969)	(1) () (4)		
	クロウス(BACKRUM 22)	コウコク	トル	ハンガタ (A4)	カガリ	
183 AMERICAN JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYN ECOLOGY	(105)	(1-	4) (1969)	() () (4)		
	クロウス(BACKRUM 22)	コウコク	トル	ハンガタ (A4)	カガリ	
184 AMERICAN JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYN ECOLOGY	(105)	(5-	8) (1969)	(1) () (4)		
	クロウス(BACKRUM 22)	コウコク	トル	ハンガタ (A4)	カガリ	
185 AMERICAN JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYN ECOLOGY	(106)	(1-	4) (1970)	() () (4)		
	クロウス(BACKRUM 22)	コウコク	トル	ハンガタ (A4)	カガリ	
186 AMERICAN JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYN ECOLOGY	(106)	(5-	8) (1970)	(1) () (4)		
	クロウス(BACKRUM 22)	コウコク	トル	ハンガタ (A4)	カガリ	
187 AMERICAN JOURNAL OF ORTHOPSYCHIATRY. A JOURNAL OF HUMAN BEHAVIOR	(39)	(1-	2) (1969)	() () (2)		
	クロウス(BACKRUM 22)	コウコク	トル	ハンガタ (B5)	カガリ	
188 AMERICAN JOURNAL OF ORTHOPSYCHIATRY. A JOURNAL OF HUMAN BEHAVIOR	(39)	(3-	5) (1969)	(1) () (3)		
	クロウス(BACKRUM 22)	コウコク	トル	ハンガタ (B5)	カガリ	
189 AMERICAN JOURNAL OF ORTHOPSYCHIATRY. A JOURNAL OF HUMAN BEHAVIOR	(40)	(1-	3) (1970)	(1) () (3)		
	クロウス(BACKRUM 22)	コウコク	トル	ハンガタ (B5)	カガリ	

図 9

図 10

和 洋 の 別	平 均 年 度	1 COR ・ 2 COR	雑誌 コード	初 巻	初 号	初 年	終 巻	終 号	終 年	索引 の有 無	サブ の冊 数	ワー ー ニ ン グ	未 払 か ?	寄 贈 ・ 購 入	分 冊 数	冊 数	合 冊 製 本 か	巻 号 パ タ ー ン	ク ロ ー ス	判 型	広 告 処 理
雑誌 備	雑誌 名	略 誌 名	休 廃 刊	巻 内 ワ ー ー ン	注: 1レコードの長さ=228文字																

図 11 製本ファイルのフォーマット

て、アSEMBラーなどと比較すると、はるかに容易に、習得が可能である。当館で使用している電算機は、東芝の TOSBAC—3400 という機種で、当初は磁気テープを主体としたオペレーティング・システムを採用していたが、のちになって、ディスク中心のシステムに改められた。このために、当初使用していたコンパクト・コボルよりはるかに質の高い、フル・コボルに近いコボルが使えるようになった。

しかし、機械の記憶容量に制限があり、コボルのプログラムの中で、ソートのサブルーティンを参照できなかったり、レポート・ジェネレーター（報告書機能）のような便利な機能が、残念ながら使用できない。したがって、記憶容量を充分もっているコンピューターであれば、MERGE・SORT・PRINT の3ステップを、1本のプログラムで処理することが可能なのだが、以上の理由で、3分割せざるをえなかった。

STEP—B—6 で、発注ファイルと製本中ファイルを入力し、製本中ファイル（図 11）の更新を行なう。ついで、更新済の製本中ファイルを、誌名のアルファベット順に SORT をし、製本中リスト（図 12）をプリント・アウトさせる。

VI 納入誌の処理 (STEP—B—9)

製本雑誌が納入されると、製本中ファイルから、それらを抜きとる必要がある。納入誌は、おおむね、同一日に同一業者に発注したものが、一群となって、おさめられる。したがって、それらの発注日をカードに与え、インプットすればよい。

しかし、同一発注日の仲間のうち、小部分が納入されない場合、あるいは、逆に、小部分のみが納入される場合が考えられる。どちらの場合も、発注日カードの次に該当するタイトルの番号をせん孔したカードを添えて、

セイホンチュウ リスト		6 ページ	
カズ シメイ	カン	ゴウスウ サップ カンネン	
79 ACTA ORTHOPAEDICA SCANDINAVICA		(120) () (1969)	79
-SUPP	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
80 ACTA ORTHOPAEDICA SCANDINAVICA		(122- 128) () (1969)	80
-SUPP	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
81 ACTA ORTHOPAEDICA SCANDINAVICA		(129) () (1970)	81
-SUPP	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
82 ACTA ORTHOPAEDICA SCANDINAVICA		(132- 133) () (1970)	82
-SUPP	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
83 ACTA OTO-LARYNGOLOGICA	67	(1- 6) () (1969)	83
	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
84 ACTA OTO-LARYNGOLOGICA	68	(1- 6) () (1969)	84
	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
85 ACTA OTO-LARYNGOLOGICA		(245- 259) () (1969)	85
-SUPP	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
86 ACTA OTO-LARYNGOLOGICA		(260- 263) () (1970)	86
-SUPP	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
87 ACTA PAEDIATRICA JAPONICA (OVERSEAS ED	11	(21- 22) () (1969)	87
ITION)	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
88 ACTA PAEDIATRICA SCANDINAVICA	58	(1- 6) () (1969)	88
	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
89 ACTA PAEDIATRICA SCANDINAVICA ACTA		(188- 197) () (1969)	89
-SUPP	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
90 ACTA PAEDIATRICA SCANDINAVICA		(198- 202) () (1970)	90
-SUPP	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
91 ACTA PAEDOPSYCHIATRICA	36	(1- 12) () (1969)	91
	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
92 ACTA PATHOLOGICA JAPONICA	19	(1- 4) () (1969)	92
	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
93 ACTA PATHOLOGICA ET MICROBIOLOGICA SCA	75 4	(3- 4) () (1968)	93
NDINAVICA	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	
94 ACTA PATHOLOGICA ET MICROBIOLOGICA SCA	75	(1- 4) () (1969)	94
NDINAVICA	ギョウシヤ トシヨカン ヨウヒン	KK ハツチュウビ 7-21 ノウニウビ 7-22	

図 12

図 13

ノウヒン サレク セイホン ザッシ (ニカイジムシツニアリ)

ページ 1

	カン	ゴウスウ	カンネン	ザツシカ	セイホンヒ
ALA BULL	63	(1- 11)	1969	コウニユウ	700
ASHA	11	(1- 12)	1969	コウニユウ	800
ABR INDEXMED	1	(1- 9)	1970	コウニユウ	N. G.
ABSTR WORLD MED	43	(1- 6)	1969	コウニユウ	700
ACTA ANAT(BASEL)	74	(1- 4)	1969	コウニユウ	700
ACTA ANAT(BASEL) -SUPP		(56)	1969	コウニユウ	700
ACTA ANAT(BASEL) -SUPP		(57)	1969	コウニユウ	700
ACTA BIOCHIM POL	16	(1- 3)	1969	キゾウ	700
ACTA BIOL MED GERMAN	23	(1- 3)	1969	コウニユウ	700
ACTA BIOL MED GERMAN	23	(4- 6)	1969	コウニユウ	700
ACTA BIOL MED GERMAN	24	(1- 3)	1970	コウニユウ	700
ACTA BIOL MED GERMAN	24	(4- 6)	1970	コウニユウ	700
ACTA CARDIOL (BRUX)	24	(1- 6)	1969	コウニユウ	700
ACTA CARDIOL (BRUX) -SUPP		(13)	1969	コウニユウ	700
ACTA CHEM SCAND	24	(1- 2)	1970	コウニユウ	700
ACTA CHIR SCAND (SUPP)		(396- 405)	1969	コウニユウ	700
ACTA CHIR SCAND (SUPP)		(401- 409)	1970	コウニユウ	700
ACTA CYTOL	14	(1- 6)	1970	コウニユウ	700
ACTA DERMATOVENER(STOCKHOLM)	49	(1- 6)	1969	コウニユウ	700
ACTA DERMATOVENER(STOCKHOLM) -SUPP	49	(61- 62)	1969	コウニユウ	700
ACTA ENDOCR(KOBENHAVN)	61	(1- 4)	1969	コウニユウ	700
ACTA ENDOCR(KOBENHAVN)	63	(1- 4)	1970	コウニユウ	700
ACTA ENDOCR(KOBENHAVN)	64	(1- 4)	1970	コウニユウ	700
ACTA ENDOCR(KOBENHAVN) -SUPP	64	(143- 148)	1970	コウニユウ	700
ACTA ENDOCR(KOBENHAVN) -SUPP	65	(149)	1970	コウニユウ	700
ACTA GENET MED(ROMA)	18	(1- 4)	1969	コウニユウ	800
ACTA MED NAGASAKI	14	(1- 2)	1969	キゾウ	700
ACTA MED NAGASAKI	14	(3- 4)	1970	キゾウ	700
ACTA MED SCAND	187	(1- 6)	1970	コウニユウ	700
ACTA MED SCAND(SUPP)		(497- 505)	1969	コウニユウ	700
ACTA MED SCAND(SUPP)		(506- 510)	1970	コウニユウ	700
ACTA MED UNIV KAGOSHIMA	12	(1- 2)	1970	キゾウ	700
ACTA MED VENEZOLANA	16	(1- 12)	1969	キゾウ	800
ACTA NEUROCHIR(WIEN)	22	(1- 4)	1970	コウニユウ	700
ACTA NEUROCHIR(WIEN) -SUPP		(18)	1969	コウニユウ	700
ACTA NEUROL PSYCHIAT BELG	69	(1- 12)	1969	キゾウ	700
ACTA NEUROL PSYCHIAT BELG	70	(1- 2)	1970	キゾウ	700
ACTA NEUROL SCAND(SUPP)	45	(36)	1969	コウニユウ	700
ACTA NEUROL SCAND(SUPP)	45	(38- 40)	1969	コウニユウ	700
ACTA NEUROL SCAND(SUPP)	46	(41- 43)	1970	コウニユウ	700
ACTA NEUROPATH(BERLIN)	14	(1- 4)	1969	コウニユウ	700
ACTA OBST GYNAEC JAP	16	(1- 4)	1969	キゾウ	700
ACTA OBSTET GYNEC SCAND(SUPP)	48	(1- 3)	1969	コウニユウ	700
ACTA OBSTET GYNEC SCAND(SUPP)	48	(4)	1969	コウニユウ	700
ACTA OBSTET GYNEC SCAND(SUPP)	48	(5- 6)	1969	コウニユウ	700
ACTA OBSTET GYNEC SCAND(SUPP)	48	(7)	1969	コウニユウ	700
ACTA OBSTET GYNEC SCAND(SUPP)	48	(8- 9)	1969	コウニユウ	700
ACTA OBSTET GYNDC SCAND(SUPP)	49	(1)	1970	コウニユウ	700
ACTA ODONT SCAND	27	(1- 6)	1969	コウニユウ	700
ACTA OPHTHAL(KOBENHAVN)	48	(1- 3)	1970	コウニユウ	700
ACTA OPHTHAL(KOBENHAVN) -SUPP		(100- 106)	1969	コウニユウ	700
ACTA OPHTHAL(KOBENHAVN) -SUPP		(107)	1970	コウニユウ	700
ACTA ORTHOP SCAND	40	(1- 6)	1969	コウニユウ	700
ACTA ORTHOP SCAND(SUPP)		(85)	1965	コウニユウ	700
ACTA ORTHOP(SUPP)		(120)	1969	コウニユウ	700

図 14

入力すればよい。添加されたカードが未納入誌を表わすのか、あるいは、納入誌を表わしているのか、その区別は、操作卓上のスイッチの操作による。

製本中のファイルと、上記のパンチカードをインプットして、納入済のものと、なお製本中のものとを、ふりわけ。この過程で、製本費の算出を行ない、業者からの請求書をチェックする。ふりわけの途次、納入誌リスト(図 14)をとるが、これは登録事務完了まで整理中のリストとして用いる。

VII 納入誌の登録 (STEP—B—10)

まず、納入誌に与えるべき登録番号の最初の番号をカ

ードにパンチし、納入誌ファイルと一緒に入力する。各タイトルに、逐次、登録番号を与え、登録台帳ファイル上にアウトプットする。同時に、会計的な帳票として、明細書(図 16)を、ライン・プリンターにアウト・プットする。

以上、製本処理の仕事の流れにそって、概略を述べてきたわけだが、この納入誌の登録が完了すると、一応、製本処理業務は終りになるわけである。

ここでお気付きの方もおいでと思うが、STEP—B—2, 3, 7, 11 が、プログラムの説明から省かれている。これらは、決して欠番になっているわけではなく、製本処理業務の流れをスムーズにするための、いわゆる補助

図 15

＊コウニユウ

トウキバンゴウ		ザッシメイ		カンゴウカンネン		サツスウ	カカク	ビコウ
M00017	ZA	ACTA	BIOLOGICA ET MEDICA GERMANICA	22	(1-3)	69	1	700
M00018	ZA	ACTA	BIOLOGICA ET MEDICA GERMANIBAC	22	(4-6)	69	1	700
M00019	ZA	ACTA	BIOLOGICA ET MEDICA GERMANICA	23	(1-3)	69	1	700
M00020	ZA	ACTA	BIOLOGICA ET MEDICA GERMANICA	23	(4-6)	69	1	700
M00021	ZA	ACTA	BIOLOGICA ET MEDICA GERMANICA	24	(1-3)	70	1	700
M00022	ZA	ACTA	CARDIOLOGICA	24	(1-6)	69	1	700
M00023	ZA	ACTA	CHEMICA SCANDINAVICA	23	(1-2)	69	1	700
M00024	ZA	ACTA	CHEMICA SCANDINAVICA	23	(3-4)	69	1	700
M00025	ZA	ACTA	CHEMICA SCANDINAVICA	23	(5-6)	69	1	700
M00026	ZA	ACTA	CHEMICA SCANDINAVICA	23	(7-8)	69	1	700

図 16

的な役割をもつプログラムなのである。例えば、マスター・ファイルに、製本関係項目を追加・修正したりするプログラムや、納入誌ファイルの判型等を追加・修正したりするプログラムで、主として、各種ファイルのメンテナンスのために存在する。これらは、業務の流れには直接関係をもたないので、説明を省かせていただく。

VIII お わ り に

製本処理システムは、ひとつのサブシステムとして、雑誌の一元処理システムの一環をなし、とくに、チェック・インや支払等のサブシステムと深い関連をもっている。これらは、相互に、有効に、作用しあい、依存しあってこそ、業務遂行の実を挙げうる。これらのサブシステム群は、ルーティンとして、我々の日常に定着化しつつあるわけだが、出発の時点では、相互間に若干の齟齬

を生じ、効率の面で思わしくない影響を与えあう事も起りうると思う。我々は、このシステムをより有効なシステムに育てあげるべく、ソフトウェアの改善や各種ファイルの改良等に、つねに意を配らねばと、覚悟している。最後に、皆様からの忌憚のないご意見なり、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

＊ ＊ ＊